



第53回 市内一周駅伝競走大会

18 議案を原案可決 特別職給与条例等の一部改正など

12月定例会

審議の概要
平成十八年市議会十二月定例会は、十一月二十八日から十二月二十一日まで、会期二十四日間で開催しました。
今定例会では、平成十九年四月から天城山荘の宿泊施設等を伊豆市へ引き継ぐため「平塚市市民休養の郷宿泊施設の設置及び管理等に関する条例を廃止する条例」や一般会計および特別会計の補正予算など一九案件が市長から提案され、報告を除く一八議案を審議し、いずれも原案どおり可決しました。そのうち、平成十九年一月一日現在に在職する市長、助役等に係る退職手当を削減する「平塚市特別職員の給与に関する条例及び平塚市教育委員

会教育長の給与、勤務時間、その他の勤務条件に関する条例の一部を改正する条例」は、総務経済常任委員会で平成二十九年三月三十一日までの今後一〇年間に支給する特別職等の退職手当を削減対象とすることを趣旨とする修正案を委員が提出し、審査の結果、修正案は否決し、原案を可決しました。さらに本会議最終日には、再度委員会と内容の修正案を議員が提出し、審議の結果、修正案を否決し、原案を可決しました。
また、十月の決算特別委員会において審査を行った平成十七年度一般会計・特別会計および病院事業の各決算を認定しました。

一般会計補正予算 六三三〇万円余を追加

今定例会では、一般会計補正予算六三三〇万円〇〇〇円をはじめ、特別会計の補正予算が市長から提案されました。議会では、いずれも原案どおり可決しました。
今回の一般会計補正予算の主な内容は、民生費

追加工しました。土木費では、花と緑のふれあい拠点(仮称)整備事業の進捗に伴う外周道路整備のための工事費等を計上しました。消防費では、

女性消防職員の職域拡大に対応するための施設改修費等を計上しました。この結果により、一般会計の予算総額は、七三億八一四六万九〇〇〇

75歳以上の医療は新たな制度へ 広域連合設置に向け規約を協議

健康保険法等の一部を改正する法律により、平成二十年四月一日から高齢者以上の高齢者の医療給付を県内全市町村が加入する広域連合で行うこと

新年のごあいさつ

市議会議長 伊藤 裕



新年明けましておめでとうございます。
国の三位一体改革等により地方分権が進展し、本格的な地方主権の時代を迎えました。

自らのまちは自ら治めるといふ観点から、昨年本市では、自治の基本ルールを定めた平塚市自治基本条例を制定しました。この条例により、市民・行政・議会の三者が協働することで、真の自治社会が形成されるものと考

えて、行政改革に当たり、本市議会では、議会も聖域化することなく取り組む必要があることから、議員定数を削減しました。本市では市庁舎の建て替えやごみ処理広域化などの諸課題が山積しており、議会もこれらの課題解決に向け全力で取り組む所存であります。本年もよろしく願い申し上げます。

紙面の構成のご案内

12月定例会 議案の審議結果	1面
行財政全般	2面
行財政全般・経済	3面
福祉・安心安全	4面
行政一般	5面
決算〈決算特別委員会〉	6面
発言通告	7面
教育	8面

となり、神奈川県後期高齢者医療広域連合規約を定めるための協議について、地方自治法の規定により市長から議会の議決が求められました。議会では、本議案を賛成多数で可決しました。

地方自治に貢献
2議員表彰される
先般、長年にわたり地方自治の発展に貢献したとして栗田己好議員(平塚)と小林保雄議員(平塚)が、県知事から神奈川県地方自治功労者の表彰を受けました。
議会では、今定例会最終日の冒頭に議長から受章の披露があり、同僚議員が祝辞を述べ、その栄誉をたたえました。